

令和4年11月27日（日）施行

第208回 全経簿記能力検定試験 2級 工業簿記 解答

第1問

①	間接経費	②	直接労務費	③	直接材料費
④	間接労務費	⑤	間接材料費		

第2問

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	材 料	105,000	買 掛 金	105,000
2	仕 掛 品 製 造 間 接 費	115,000 12,000	材 料	127,000
3	仕 掛 品 製 造 間 接 費	1,945,698 329,022	賃 金	2,274,720
4	仕 掛 品	628,037	製 造 間 接 費	628,037
5	製 品	394,620	仕 掛 品	394,620
6	売 掛 金 売 上 原 価	902,000 700,503	売 上 品 製 品	902,000 700,503

第3問

材料費

月初仕掛品	¥ 50,000 700 個	当月完成品	(¥ 129,200) 1,800 個
当月投入	¥ 122,400 1,700 個	月末仕掛品	(¥ 43,200) 600 個

加工費

月初仕掛品	¥ 65,000 ? 個	当月完成品	(¥ 330,350) 1,800 個
当月投入	¥ 320,250 ? 個	月末仕掛品	(¥ 54,900) ? 個

第4問

①	ウ	②	オ	③	ア
④	イ	⑤	エ		

第5問

原価計算表

(単位：円)

指図書番号 摘要	526	527	528	合計
月初仕掛品原価	(534,100)	—	—	(534,100)
直接材料費	(55,000)	(156,060)	(158,480)	(369,540)
直接労務費	(30,465)	(132,015)	(40,620)	203,100
製造間接費	(91,095)	(394,745)	(121,460)	607,300
合計	(710,660)	(682,820)	(320,560)	(1,714,040)
備考	完 成	完 成	仕 掛 中	

令和4年11月27日（日）施行

第208回 全経簿記能力検定試験 2級 工業簿記 解説

第1問

- ① 衣料品製造工場で衣料品を製造するために使用する機械の保険料は、直接、製品の製造にかかる経費ではないため、間接経費となる。
- ② 衣料品製造工場で衣料品の縫製を担当する正規社員の工員が縫製作業に従事した時間分の賃金は、工員が製品の製造に直接携わる賃金となるため、直接労務費となる。
- ③ 衣料品製造工場で衣料品を製造するために消費された布地の金額は、直接、製造にかかる材料費となるため、直接材料費となる。
- ④ 衣料品製造工場で衣料品の縫製を担当する正規社員の工員が会議に出席した時間分の賃金は、工員が製品の製造に直接携わる賃金ではないため、間接労務費となる。
- ⑤ 衣料品製造工場で衣料品を製造するために使用する金額の僅少な各種道具の代金は、衣料品の製造に直接かかる材料費ではないため、間接材料費となる。

第2問

1. 製品を製造するための各種原材料・部品合計¥100,000を購入した場合、材料勘定を用いて処理をする。
又、送料¥5,000は、材料を購入し入庫するまでに要した付随費用となるため、購入原価に含める。

$$\begin{aligned} \text{購入原価} &= \text{購入代価} + \text{付随費用} \\ &= ¥100,000 + ¥5,000 \\ &= ¥105,000 \end{aligned}$$
 送料を含めた代金¥105,000は、仕入先の普通預金口座に翌月末までに振り込むこととしたとあるので、買掛金勘定を用いて処理をする。
2. 製品を製造するために各種原材料と部品合計¥127,000を出庫した場合、直接材料費となるため、材料勘定から仕掛品勘定へ振替える処理をするが、¥127,000のうち¥12,000は、製品製造のために使用している工作機械の修繕に用いられたとあるので、間接材料費となり材料勘定から製造間接費勘定へ振替える処理をする。

$$\begin{aligned} \text{直接材料費} \quad & ¥127,000 - ¥12,000 = ¥115,000 \rightarrow \text{仕掛品勘定へ} \\ \text{間接材料費} \quad & ¥12,000 \rightarrow \text{製造間接費勘定へ} \end{aligned}$$
3. 当月の直接工の作業時間の内訳から、加工時間750時間と段取時間208時間は、直接労務費となり、賃金勘定から仕掛品勘定へ振替える処理をする。
 また、直接工の間接作業時間127時間と手待時間35時間は、間接労務費となるため、賃金勘定から製造間接費勘定へ振替える処理をする。

$$\begin{aligned} \text{当月の直接工の作業時間合計} &= \text{加工時間} + \text{段取時間} + \text{間接作業時間} + \text{手待時間} \\ &= 750 \text{ 時間} + 208 \text{ 時間} + 127 \text{ 時間} + 35 \text{ 時間} \\ &= 1,120 \text{ 時間} \end{aligned}$$

直接労務費の計算

当月の直接工の賃金要支払額 ÷ 直接工の作業時間合計 × (加工時間 + 段取時間)

$$¥2,274,720 \div 1,120 \text{ 時間} \times (750 \text{ 時間} + 208 \text{ 時間}) = \underline{¥1,945,698}$$

間接労務費の計算：

当月の直接工の賃金要支払額 ÷ 直接工の作業時間合計 × (間接作業時間 + 手待時間)

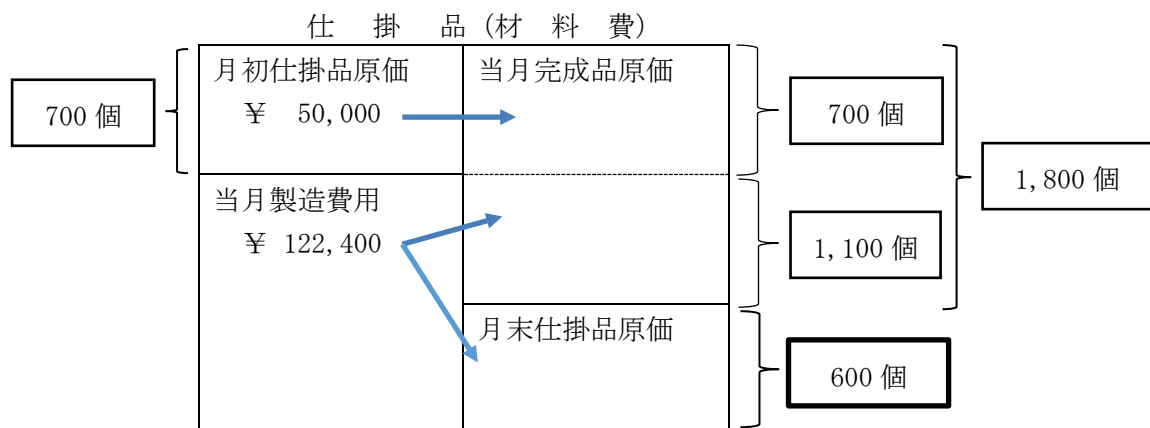
$$¥2,274,720 \div 1,120 \text{ 時間} \times (127 \text{ 時間} + 35 \text{ 時間}) = \underline{¥329,022}$$

4. 当月の製造間接費配賦額 ¥628,037 は、製造間接費勘定から仕掛品勘定へ振替える処理をする。
5. 製品が完成した場合、同製品を製造するために要した製造原価 ¥394,620 は、仕掛品勘定から製品勘定へ振替える処理をする。
6. 売上原価対立法により記帳するので、製品を顧客に引き渡した場合、売上勘定を用いて処理をし、代金については、翌月末までに当社の当座預金口座へ振り込まれることになっているため、売掛金勘定を用いて処理をする。製造原価 ¥700,503 の製品を顧客に引き渡した場合、製品勘定から売上原価勘定へ振替える。

第3問

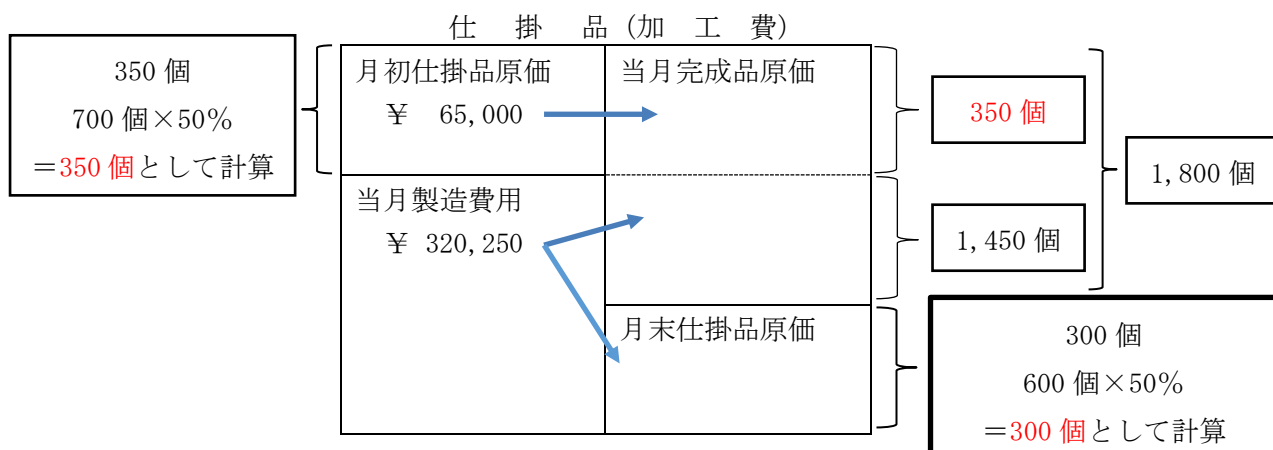
月末仕掛品原価と完成品原価を求める。

材料は始点で全量投入 月末仕掛品の評価は先入先出法によって計算



月末仕掛品原価： $¥122,400 \div (1,100 \text{ 個} + 600 \text{ 個}) \times 600 \text{ 個} = ¥43,200$

当月完成品原価： $¥50,000 + ¥122,400 \div (1,100 \text{ 個} + 600 \text{ 個}) \times 1,100 \text{ 個} = ¥129,200$



月末仕掛品原価： $¥320,250 \div (1,450 \text{ 個} + 300 \text{ 個}) \times 300 \text{ 個} = ¥54,900$

当月完成品原価： $¥65,000 + ¥320,250 \div (1,450 \text{ 個} + 300 \text{ 個}) \times 1,450 \text{ 個} = ¥330,350$

第4問

ア. 製造間接費の配賦額

→ 製造間接費勘定から仕掛品勘定への振替えをあらわす。

イ. 当月中に完成した製品の原価

→ 仕掛品勘定から製品勘定への振替えをあらわす。

ウ. 製品を製造するために消費された原料の金額

→ 直接材料費となり、材料勘定から仕掛品勘定への振替えをあらわす。

エ. 当月中に顧客に引き渡した製品の原価

→ 製品勘定から売上原価勘定への振替えをあらわす。

オ. アルバイトの工員に支払われる当月分の給料

→ 間接労務費となり、賃金勘定から製造間接費勘定への振替えをあらわす。

① 材料勘定から仕掛品勘定への振替えをあらわしている。

これは、材料の消費額のうち直接材料費を意味している。よって、製品を製造するために消費された原料の金額をあらわしていることになるため、 **ウ** となる。

(借) 仕 掛 品	(貸) 材 料
-----------	---------

② 賃金勘定から製造間接費勘定への振替えをあらわしている。

これは、賃金の消費額のうち間接労務費を意味している。よって、アルバイトの工員に支払われる当月分の給料をあらわしていることになるため、 **オ** となる。

(借) 製 造 間 接 費	(貸) 賃 金
---------------	---------

③ 製造間接費勘定から仕掛品勘定への振替えをあらわしている。

よって、製造間接費の配賦をあらわしていることになるため、 **ア** となる。

(借) 仕 掛 品	(貸) 製 造 間 接 費
-----------	---------------

④ 仕掛品勘定から製品勘定への振替えをあらわしている。

これは、当月に完成した製品の原価の振替えを意味している。よって、当月中に完成した製品の原価の振替えをあらわしていることになるため、 **イ** となる。

(借) 製 品	(貸) 仕 掛 品
---------	-----------

⑤ 製品勘定から売上原価勘定への振替えをあらわしている。

これは、製品の販売時に、製品の原価を売上原価勘定に振替えたことを意味している。よって、当月中に顧客に引き渡した製品の原価の振替えをあらわしていることになるため、 **エ** となる。

(借) 売 上 原 価	(貸) 製 品
-------------	---------

第5問

(移動平均法)			材 料 元 帳						(単位：円)		
日	付	摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
10	1	前月繰越	120	550	66,000				120	550	66,000
	4	出庫(No. 526)				100	(550)	(55,000)	20	(550)	(11,000)
	6	仕 入	280	580	162,400				300	(578)	(173,400)
	7	出庫(No. 527)				270	(578)	(156,060)	30	(578)	(17,340)
	24	仕 入	360	565	203,400				390	(566)	(220,740)
	25	出庫(No. 528)				280	(566)	(158,480)	110	(566)	(62,260)
	31	次月繰越				110	(566)	(62,260)			
			760		431,800	760		431,800			
11	1	前月繰越	110	(566)	(62,260)				110	(566)	(62,260)

製造指図書番号 526 <前月より製造着手 当月完成>

月初仕掛品原価	【問題文 3.】前月末までの直接材料費、直接労務費、製造間接費配賦額の合計より ¥128,600 + ¥102,000 + ¥303,500 = <u>¥534,100</u>
直接材料費	【問題文 4.】材料元帳作成より 10/ 4 に出庫した金額 <u>¥55,000</u>
直接労務費	【原価計算表】直接労務費合計、【問題文 5.】10 月の製造指図書別直接作業時間より ¥203,100 ÷ (15 時間 + 65 時間 + 20 時間) × 15 時間 = <u>¥30,465</u>
製造間接費	【原価計算表】製造間接費合計、【問題文 6.】直接作業時間を基準として各製造指図書へ配賦とあるので、【問題文 5.】10 月の製造指図書別直接作業時間より ¥607,300 ÷ (15 時間 + 65 時間 + 20 時間) × 15 時間 = <u>¥91,095</u>
合 計	<u>¥534,100</u> + <u>¥55,000</u> + <u>¥30,465</u> + <u>¥91,095</u> = <u>¥710,660</u>

製造指図書番号 527 <当月より製造着手 当月完成>

直接材料費	【問題文 4.】材料元帳作成より 10/ 7 に出庫した金額 <u>¥156,060</u>
直接労務費	【原価計算表】直接労務費合計、【問題文 5.】10 月の製造指図書別直接作業時間より ¥203,100 ÷ (15 時間 + 65 時間 + 20 時間) × 65 時間 = <u>¥132,015</u>
製造間接費	【原価計算表】製造間接費合計、【問題文 6.】直接作業時間を基準として各製造指図書へ配賦とあるので、【問題文 5.】10 月の製造指図書別直接作業時間より ¥607,300 ÷ (15 時間 + 65 時間 + 20 時間) × 65 時間 = <u>¥394,745</u>
合 計	<u>¥156,060</u> + <u>¥132,015</u> + <u>¥394,745</u> = <u>¥682,820</u>

製造指図書番号 528 <当月より製造着手 当月仕掛中>

直接材料費	【問題文 4.】材料元帳作成より 10/25 に出庫した金額 <u>¥158,480</u>
直接労務費	【原価計算表】直接労務費合計、【問題文 5.】10 月の製造指図書別直接作業時間より ¥203,100 ÷ (15 時間 + 65 時間 + 20 時間) × 20 時間 = <u>¥40,620</u>
製造間接費	【原価計算表】製造間接費合計、【問題文 6.】直接作業時間を基準として各製造指図書へ配賦とあるので、【問題文 5.】10 月の製造指図書別直接作業時間より ¥607,300 ÷ (15 時間 + 65 時間 + 20 時間) × 20 時間 = <u>¥121,460</u>
合 計	<u>¥158,480</u> + <u>¥40,620</u> + <u>¥121,460</u> = <u>¥320,560</u>